

平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ
 コード番号 4840 URL <http://www.triis.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池田 均
 (氏名) 小出 美紀

TEL 03-3221-0211

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	2,153	△21.2	180	△9.4	222	△20.2	93	△14.1
25年12月期第2四半期	2,732	△2.7	199	127.0	278	165.9	109	164.8

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 90百万円 (△23.4%) 25年12月期第2四半期 117百万円 (168.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	8.30	8.07
25年12月期第2四半期	9.45	9.25

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第2四半期	8,086	6,589	80.4	572.99		
25年12月期	7,596	6,583	85.8	577.04		

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 6,502百万円 25年12月期 6,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,646	△19.5	90	△0.2	90	△56.1	5	△92.4	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	12,600,000 株	25年12月期	12,600,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	1,251,080 株	25年12月期	1,308,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	11,299,831 株	25年12月期2Q	11,552,362 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな景気回復基調が継続しながらも、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が見られました。一方、世界経済は、米国の個人消費が安定的に推移しておりますが、中国や東南アジア諸国をはじめとする新興国の成長率鈍化などにより、先行きは不透明な状況が続きました。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1 となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、直近の三事業年度にわたり順調に業績回復を実現することができました。当期につきましても引き続き、連結ベースでの営業利益・経常利益の黒字化は当然ながら、これらの増益及び最終損益の黒字化を目指しております。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,153百万円（前年同期比21.2%減）、販売費及び一般管理費は687百万円（前年同期比19.9%減）と更なる削減を実現しており、営業利益は180百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益は222百万円（前年同期比20.2%減）、税金等調整前四半期純利益は218百万円（前年同期比17.9%減）、四半期純利益は93百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

(建設コンサルタント事業)

建設コンサルタント事業においては、全国的に防災・減災対策関連の業務の受注が増えました。さらに、河川管理施設等のインフラ修繕や長寿命化計画策定等に関連する業務の受注も増加傾向にあります。

一方で、従来型の大型公共事業である新規ダム建設などの受注は依然として厳しい状況にあり、従来型業務から維持管理を中心とした継続性の高い業務への転換を図ってまいります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,441百万円（前年同期比19.4%減）と減少しているものの、原価、販売費及び一般管理費ともに経費削減の効果が表れてきており、営業利益は206百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

(ファッションブランド事業)

不採算店舗の閉店、消費税率引き上げなどの理由で、売上が減少しております。一方で、ブランド価値向上の努力の結果、ライセンス事業でのロイヤルティー収益が増加し、経費については第1四半期に続き、経費削減を図り順調にその効果が出てきております。しかしながら、原材料の価格高騰により、これまで企業努力で価格を据え置いておりましたが早急に見直す必要があると思っております。

ファッションブランド事業全体で、ネット販売を強化すべく台湾のみならず、グローバル市場向けの英語版オンラインショップの準備を進めております。濱野皮革工藝(株)については、国内唯一であるハンドバグー貫製造工場としての軽井沢工場の価値を再認識し、Made in Japanの上質な商品の提供を行って参ります。また、CLATHASのライセンス事業においては、新規ライセンシーを開拓し、ブランド認知の拡大を目指します。東京ブラウス(株)については、リブランディングしたCLATHASの過渡期で厳しい状況にありますが、表参道店、オンラインショップを軸に知名度アップに努めます。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は711百万円（前年同期比24.5%減）、営業利益は5百万円（前年同期比909.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ490百万円増加し、8,086百万円となりました。これは主に、現金及び預金が576百万円、受取手形及び売掛金が210百万円増加し、仕掛品が165百万円、のれんが86百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ483百万円増加し、1,497百万円となりました。これは主に、前受金534百万円の増加によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、6,589百万円となりました。これは主に、配当金の支払に伴う利益剰余金112百万円の減少、四半期純利益計上に伴う利益剰余金93百万円の増加及び新株予約権18百万円の増加、自己株式12百万円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益は218百万円となり、配当金の支払があったものの、たな卸資産の減少、前受金の増加等があったことにより、前連結会計年度末に比べ576百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末においては2,854百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は690百万円（前年同期は1,048百万円の回収）となりました。主な資金の増加要因は、税金等調整前四半期純利益218百万円、たな卸資産の減少208百万円、前受金の増加534百万円であります。主な資金の減少要因は、売上債権の増加210百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10百万円（前年同期は33百万円の回収）となりました。これは主に、投資有価証券の清算による収入35百万円と投資有価証券取得による支出45百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は103百万円（前年同期は178百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払いによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年2月14日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,273,552	2,849,707
受取手形及び売掛金	241,535	451,750
有価証券	104,310	104,339
商品及び製品	344,877	301,825
仕掛品	573,115	407,462
原材料及び貯蔵品	60,687	60,742
繰延税金資産	40,820	41,338
その他	77,051	67,231
貸倒引当金	△1,368	△513
流動資産合計	3,714,581	4,283,884
固定資産		
有形固定資産		
土地	814,007	809,621
その他(純額)	261,667	243,065
有形固定資産合計	1,075,675	1,052,686
無形固定資産		
のれん	760,030	673,236
その他	57,610	59,733
無形固定資産合計	817,641	732,969
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,700	1,833,618
その他	222,578	205,306
貸倒引当金	△21,548	△21,548
投資その他の資産合計	1,988,730	2,017,377
固定資産合計	3,882,046	3,803,034
資産合計	7,596,628	8,086,918

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,275	127,884
未払法人税等	83,238	130,509
前受金	435,754	970,600
賞与引当金	—	30,547
返品調整引当金	7,724	5,978
受注損失引当金	7,108	3,000
その他	237,363	162,135
流動負債合計	946,464	1,430,656
固定負債		
資産除去債務	24,111	24,204
その他	42,441	42,153
固定負債合計	66,552	66,357
負債合計	1,013,017	1,497,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	2,070,940	2,068,227
利益剰余金	△274,968	△294,104
自己株式	△291,115	△278,321
株主資本合計	6,504,856	6,495,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1,728
為替換算調整勘定	10,595	8,783
その他の包括利益累計額合計	10,595	7,055
新株予約権	68,158	87,049
純資産合計	6,583,610	6,589,905
負債純資産合計	7,596,628	8,086,918

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	2,732,498	2,153,786
売上原価	1,676,119	1,286,353
売上総利益	1,056,379	867,432
販売費及び一般管理費	857,368	687,114
営業利益	199,010	180,318
営業外収益		
受取利息	746	1,346
不動産賃貸収入	9,858	5,724
投資有価証券清算分配金	63,108	35,623
為替差益	10,577	1,455
その他	2,254	2,395
営業外収益合計	86,545	46,545
営業外費用		
支払利息	415	69
不動産賃貸原価	5,485	4,065
その他	691	168
営業外費用合計	6,592	4,302
経常利益	278,963	222,561
特別損失		
減損損失	7,236	4,386
和解金	6,000	—
その他	—	51
特別損失合計	13,236	4,438
税金等調整前四半期純利益	265,727	218,122
法人税等	156,559	124,348
少数株主損益調整前四半期純利益	109,168	93,774
四半期純利益	109,168	93,774

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	109,168	93,774
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,728
為替換算調整勘定	8,676	△1,811
その他の包括利益合計	8,676	△3,540
四半期包括利益	117,845	90,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,845	90,233

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	265,727	218,122
減価償却費	25,324	24,044
減損損失	7,236	4,386
のれん償却額	86,794	86,794
株式報酬費用	37,722	24,964
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,526	△855
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,829	30,547
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△4,223	△4,107
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	1,087	△1,745
受取利息及び受取配当金	△746	△1,346
支払利息	415	69
投資有価証券清算分配金	△63,108	△35,623
為替差損益 (△は益)	△2,443	△1,456
売上債権の増減額 (△は増加)	259,836	△210,184
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	382	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△29,131	208,743
未収入金の増減額 (△は増加)	△3,251	△4,667
仕入債務の増減額 (△は減少)	△38,005	△47,393
前受金の増減額 (△は減少)	444,199	534,845
未払金の増減額 (△は減少)	23,783	△61,854
その他	7,025	△31,813
小計	1,045,929	731,470
利息及び配当金の受取額	747	1,344
利息の支払額	△415	△69
法人税等の還付額	22,831	18,754
法人税等の支払額	△20,930	△60,702
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,048,162	690,798
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,049	△4,987
無形固定資産の取得による支出	△16,120	△8,954
投資有価証券の清算による収入	63,108	35,623
投資有価証券の取得による支出	—	△45,918
定期預金の預入による支出	△100,000	—
定期預金の払戻による収入	100,000	—
貸付けによる支出	—	△6,300
貸付金の回収による収入	450	4,774
その他	1,832	15,210
投資活動によるキャッシュ・フロー	33,220	△10,551

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	89	4,373
自己株式の取得による支出	△65,719	△366
配当金の支払額	△110,230	△105,121
リース債務の返済による支出	△3,003	△2,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,863	△103,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,037	△495
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	907,556	576,183
現金及び現金同等物の期首残高	1,811,750	2,277,863
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,719,307	2,854,047

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,789,397	943,100	2,732,498	—	2,732,498
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	146	146	△146	—
計	1,789,397	943,246	2,732,644	△146	2,732,498
セグメント利益	215,974	562	216,536	△17,526	199,010

(注) 1. セグメント利益の調整額△17,526千円には、セグメント間取引消去△13,185千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△4,340千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で2,729千円、「ファッションブランド事業」で4,506千円を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,441,862	711,923	2,153,786	—	2,153,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,441,862	711,923	2,153,786	—	2,153,786
セグメント利益	206,582	5,680	212,262	△31,944	180,318

(注) 1. セグメント利益の調整額△31,944千円には、セグメント間取引消去12,399千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△44,343千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において減損損失を「建設コンサルタント事業」で4,386千円を計上しております。

(重要な後発事象)

(1) 自己株式の取得

当社は平成26年7月15日開催の取締役会において、会社法第165条第3項により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について以下のとおり決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため自己株式の取得を行うものであります。

2. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

①取得する株式の種類

当社普通株式

②取得する株式の総数

400,000株(上限)

③取得価額の総額

150,000千円(上限)

④取得する期間

平成26年7月16日から平成27年7月15日まで

⑤取得の方法

東京証券取引所における市場買付

(2) 自己株式の消却

当社は、平成26年7月15日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を決議し、自己株式の消却を以下のとおり実施いたしました。

1. 自己株式消却に関する取締役会の決議内容

①消却する株式の種類

当社普通株式

②消却する株式の総数

600,000株

③消却予定日

平成26年7月31日

2. 消却日

平成26年7月31日

3. 上記消却後の発行済株式総数

12,000,000株